

そろばんは頭をよくする魔法の道具。

昨年 の 8 月 8 日 に京都 で開かれた全日本珠算選手権大会で優勝した“そろばん界のレジェンド”土屋宏明さん(37)。今回で通算 11 回目の優勝(日本一)をはたした土屋さんの偉業には本当に驚きますが、大会当日に社会人も含めた 600 人の中から個人総合の決勝戦に残った三人が土屋さんと中学 3 年生と小学 6 年生という事実にも二度目のビックリ！

ソロバンは年齢、性別、体力差を超えるというのは本当。囲碁や将棋の世界でも 10 代が活躍することはありますが、日本一を決める決勝戦で社会人と対等に競える小中学生が存在するのは珠算界くらいではないでしょうか。



第 419 回 全珠連主催 検定試験

試験日：令和 6 年 1 月 28 日（日）*アイウエオ順

視

努力が実を結びました！

そろばん 珠算検定				
合格級	名前	学校名	合格時の学年	教室
1 級	伊藤 彩羽	牛久保小	6 年生	高見
	石黒 日菜	牛久保小	6 年生	高見
	加藤 政樹	牛久保小	6 年生	高見
3 級	陶山 結瞳	牛久保小	6 年生	塔ノ木
暗算検定 あんざん				
合格級	名前	学校名	合格時の学年	教室
四 段	伊藤 彩羽	牛久保小	6 年生	高見
1 級	加藤 愛純	中部小	6 年生	高見
2 級	平 手 九	小坂井東小	5 年生	高見
3 級	中末 妃愛	牛久保小	5 年生	塔ノ木

合格

おめでとう！

✓ 次回の全珠連検定試験は 3 月 17 日。(1~3 級あんざんは 15 日&16 日)

*今回の検定では、段位に 6 名の生徒(そろばん 1 名、あんざん 5 名)が挑戦。比較的スムーズに合格できる級位(1 級~3 級)とは違い、段位になるとこれまでの様に簡単には昇段できません。もう少し正確に言えば、段位でも初回~3 回目あたりまでは検定のたびに点数は伸び続けますが、受験回数が増えるにつれて伸びしろが少なくなっていき、難易度が上がっていきます。100 メートル走に例えると、最初のうちは面白いようにタイムが縮まりますが、あるレベルに来るとその先へタイム更新することがもの凄く難しくなることと似ているのかも？スポーツ、勉強、習い事、どんなことにも共通しますが、壁にぶつかるココからが本当の勝負の始まりです。この時点でギブアップしてしまったら決してその先には進むことが出来ません。目に見える成果は出づらかもしれませんが、ココロとアタマを鍛える絶好のチャンスであるとポジティブに捉えて突き進んでいきましょう。

*毎年、3 月検定は通常月よりも 1 週間はやく実施されるので、すぐに試験日がやってくる！終わってからもう一生懸命に練習しておけばよかった 🐱 と後悔しないように教室でも検定と同じ位の緊張感で練習にむかひましょう。

F1 アバカス・サーキット第 298 戦(1 月大会)成績

F1 自己記録更新者(参加者 4973 名)

氏名	得点	アップ点	学年	学年別	
				順位(上位%)	参加人数
伊東 大輝	208	+8	小6	171 (45%)	382
原田 龍晟	152	+8	小5	422 (45%)	946

*F1...ふたりは今回で 9 回目の挑戦。いまだに記録が伸びているのはスゴイ。点数を伸ばす方法はふたつ、一つ目はミスを減らす(ケアレミス进行をなくす)、二つ目はより多くの問題をやる(スピード力を手に入れる)。両方ができると確実に点数はアップします。

*F2...合格者はいません。